

つばな施設です ね

カルチャーセンターを千野茂さんが視察
東京芸術大学名誉教授で彫刻家の千野茂さん（新飯田出身・七十六歳・東京都練馬区）が、日本画家の長井亮之さん（四の町出身・八十五歳・新潟市）とともに、七月二十六日市役所を訪ねました。
千野さんは、新潟市美術館で「千野茂彫刻展（七月二十八日～八月二十日）」が開催されるのに合わせて来市したもの。
滝沢市長らの歓迎を受け、現在建設中のカルチャーセンター工事現場などを視察した千野さんは「たいへんりっぱな施設が出来上がりますね」と目を細められていました。



右から三人目が長井さん、五人目が千野さん

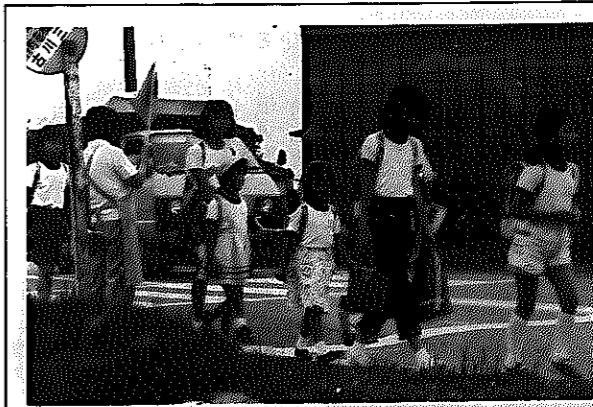
ハ イテク農業を研究

産業用無人ヘリコプター実演会
農業の近代化を推進するため、市農業振興協議会では、七月二十五日牛崎地内の大豆ほ場で、産業用無人ヘリコプターの農業散布実演会を行いました。
このヘリコプターは、ラジコンで操作し、病害虫防除や除草など農業用汎用機として開発。農道から離着陸することができ、小型トラックに積んでの移動も簡単という優れもの。一機四百万円以上という価格の問題やオペレーターの確保など、実用化にはまだ時間がかかりそうですが、当日集まった農家や関係者約百二十人は、熱い視線を送っていました。



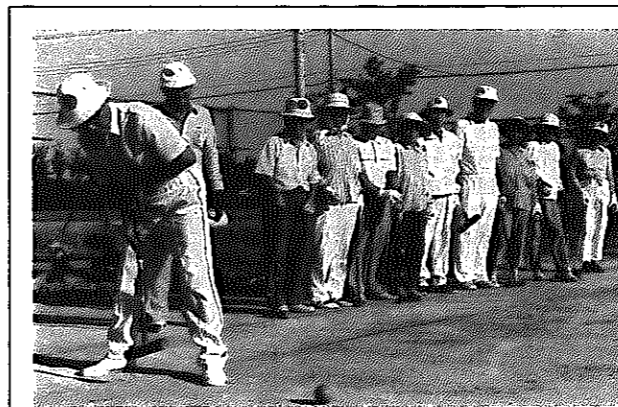
孫たちを守ります

おばあちゃんが見えないうちから古川町で交通指導
孫たちの交通事故防止を願い、古川町のおばあちゃんが見えないうちから古川町の横断歩道で交通指導にあたり、子どもたちから喜ばれています。
この人は長井登美さん、熊倉ミイさん、高橋トキイさんの三人で、交通指導にあたることにしたのは、孫が交通事故に遭いそうになったため。現地はカーブしており、一人で指導しても後続車からは見えないため、三人で行っています。
子ども会の小林涼子さんは「横断歩道はいつも安心して渡れます。おばあちゃんありがとう」と話し、子どもたちは今日も元気に登校します。



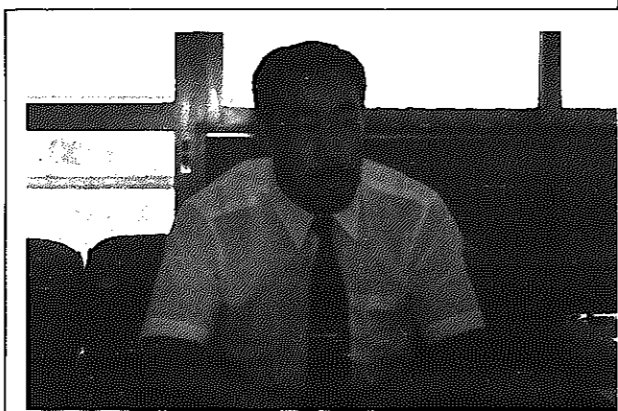
さわやかな早朝練習

大通むつみ会に新ゲートボール場
大通南団地内にゲートボール場が完成し、地元では毎週四回さわやかな早朝練習に励んでいます。
このチームは大通むつみ会ゲートボール部（小柳重雄会長・会員十六人）で、新しいコートは「公式戦ができるように」と福田組（協）が整備して、無償で開放したものです。
七月一日にはコート開きを行い、下塩俣・中塩俣から三チームを招き、地元チームも交えて五チームで親善試合を行いました。
小柳会長は「近くで便利。競技力向上と親睦が図られます」と話し、練習にもいっそう熱が入ります。



メダルを取ります

原さんレス世界選手権に出場
ソウルオリンピックのレスリングに出場した原喜彦さん（上浦・二十五歳）と橋本敏郎巻農高レスリング部監督が、七月二十八日、世界選手権出場（八月二十三日・スイス）の報告に滝沢市長を訪問しました。
オリンピック後、原さんは四月から新潟に戻り、新潟北高校の教員として勤務。教本を執る傍ら、レスリングを続けています。「練習時間があるように取れない」そうですが、世界選手権に向けて闘志満々。「ソウルでは今一歩で入賞を逃しましたが、世界選手権ではメダルを取ります」と力強く語ってくれました。



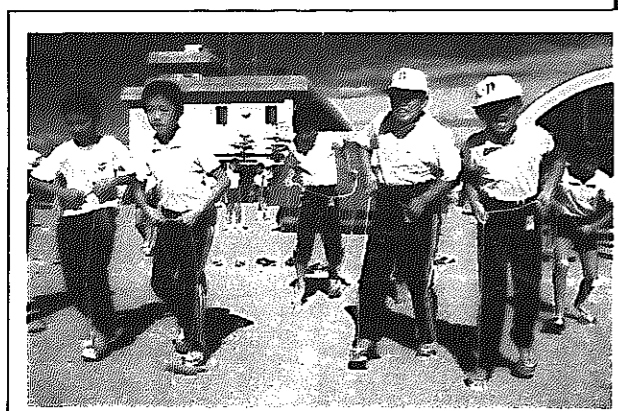
笑いと感動の熱演

ハナ肇文化講演会
市内の企業三十四社で組織する市経営振興協議会では、市制施行三十周年を記念して、文化講演会を七月二十九日に開催しました。
講師は、クレイジー・キャッツのリーダーでテレビ、映画、演劇に活躍中のハナ肇さん。マルチタレントのハナさんの話を聞けるとあって、会場の市農協ドリームホールには、約三百人の聴衆が集まりました。
ハナさんは、自分の生い立ちを中心に講演。下積みどころ、お客の心をつかむことを覚えたこと、リーダーの在り方、仕事にプロ意識を持つことなど、笑いと感動の熱演でした。



カンゲたは「足がいて」

新飯田小学校児童が「ふるさとキャンプ」に参加
新飯田小学校四年生から六年生の児童が参加して「ふるさとキャンプ」が、八月五日、小学校グラウンドで行われました。これは、夏休み中に学校でキャンプして、子どもたち自身の触れ合いを深め、思い出づくりと毎年行われているものです。
今年も、昔懐かしい「カンゲた」作りを取り組みました。「足がいて」と言いながら、子どもたちは元気にグラウンドを走ります。お待ちかねの夕食はカレーライス、もちろん自分たちで作ります。心配そうな大人たちをしり目に、不器用な手つきながら一生懸命に作っていました。



親子元気に育って

吉崎さん宅にタヌキ一家が出没
隣屋敷に住み着いたタヌキが吉崎ハルさん（水道町一・七十八歳）の庭に出没し、みんなに可愛いがらで成長しています。
このタヌキは親子で、母タヌキは四年前にも現れたことがありますが、それが今年の七月突然夫婦で現れ、七月十九日には五月ごろ生まれた子タヌキ七匹も連れていました。
タヌキは夜行性ですが、昼間でもハルさんが「タヌ」と呼ぶと姿を見せてはえさを食べます。
ハルさんは「子育てのころはたくさん食べました。親子元気で育つことを祈ります」と話していました。

